

アディクトの優劣感 (2007)

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 83分
初公開日 2007/12/22
公開情報 天空
映倫 R-15

【キャッチコピー】

セックスもドラッグも、
もういいと思うようになっていた。

【解説】

刺激を求めてセックスやドラッグに溺れたアディクト（依存症者）の若者たちの日常をリアルかつ赤裸々に綴った池間了至の同名小説を映画化したアンダーグラウンド青春ストーリー。撮影には“デフォメ（Digital Photomation）”と称した新手法を採用、高画質デジタルカメラで連続撮影された実写画像をアニメーション的にデジタル加工して繋ぎ合わせた新感覚映像表現を実現。

34歳の誕生日を目前に謎の自殺を遂げた由季宏。恋人の玲加が彼のパソコンの中に見つけた遺書。そこには、セックスとドラッグにハマリ、ヒノコという謎の女性に魅せられ、危険な世界へと足を踏み入れていく、玲加の知らないもう一人の由季宏の姿があった。

【クレジット】

監督	藍河兼一	
製作	菊池笛人	
	朴炳陽	Byonyan Park
	須貝克俊	
プロデューサー	小出正之	
原作	池間了至	『アディクトの優劣感』 (文芸社刊)
脚本	西永貴文 藍河兼一	
撮影	リン・メイサン	
音楽	江藤雅樹	
出演	沢村純吉	由季宏（ユキヒロ）
	青山華子	陽乃子（ヒノコ）
	チュウ・レイアン	アサミ
	吉武優	テンパリ
	渡部遼介	吉永
	石井あす香	玲加